

地域活動専門員日誌

旧上郷中にオープン！ 上郷のんびり広場



ミニコンサートなどでオープンを祝いました



上郷地区センター
あつろ
佐々木光広さん

昨年11月15日、上郷町の新たな憩いの場「上郷のんびり広場」が、旧上郷中学校にオープンしました。当日は、A.E.L音工房によるコンサートや人形劇、スリランカカレーと石釜ピザのお振る舞いなどでオープンを祝いました。ここでは、自由に本を読んだり借りたりできるほか、100円でコーヒーやお茶を飲むことができます。

ぜひ、「上郷のんびり広場」でのんびりとお過ごしください。開館時間▷9時～16時半(日曜は15時閉館)

みらい創りカレッジ通信

すてきな本と出会おう

遠野みらい創りカレッジには「カレッジ図書館」があります。旧土淵中学校時代の図書のほか、遠野の文化に関する本、各種文学作品、図鑑など豊富な蔵書が魅力です。さらに、カレッジのスタッフが薦める「この本、いいね！」コーナーもあります。貸し出しも行っていますので、本が好きな人、興味のある人はぜひ！

開館日時▷平日9時～17時



さまざまな本を
借りよう



チケット好評発売中！



このシーン、笑えます！

記念公演に向け準備着々 遠野物語ファンタジー迫る

40回の節目を迎える市民の舞台「遠野物語ファンタジー ～でんでらばらだす～」の公演を今月21・22日に控え、いよいよ舞台準備が大詰めを迎えています。1月23日には舞台総見を行い、キャスト・スタッフは舞台の全体的な流れを確認。舞台総見を受け、大道具や小道具、音響、衣装などの制作、舞台音楽の調整などが本格化しています。記念公演となる今作は、土淵町のデンデラ野を舞台に繰り広げられる笑いあり涙ありの感動作。2日間で全3公演を行います。チケット好評発売中！ お早めにお買い求めください。



カラス、カラス
餅っけっから来〜、来い！

1_ 元気に餅を空に投げ、カラスを呼びました 2_ 団子作りに挑戦 3_ 豊作を祈願する稲ばせ 4_ 地域のお年寄りに教えられながらお田植えに取り組み子どもたち。今年の豊作間違いなし！

遠野の文化を体験しよう 伝承園で小正月行事開催

遠野に古くから伝わる小正月行事を体験する催しは1月15日、土淵町の伝承園で行われ、土淵児童クラブの児童27人と、土淵老人クラブの会員ら20人が参加しました。児童は、お年寄りの手ほどきを受けながら、豊作を祈願するみずき団子作りや雪の上に苗に見立てた松の葉を植えるお田植えなどに挑戦。最後は、農作物の食害防止を願うカラス呼ばりに取り組み元気よく空に餅を投げました。留場悠河君(土淵小5年)は「おじいちゃんやおばあちゃん達に教えてもらったので、上手にできました」と笑顔で話しました。



1_ オープニングを飾った白岩保育園の園児と同所の関係者らで記念撮影 2_ 山口医師による記念講演 3_ 歴代の所長らを交えてのトークショー 4_ 遠野市赤十字奉仕団による炊き出しの実演 5_ 高齢者や障がい者のハンディキャップの体験 6_ 健康に関する各種体験コーナーも盛況でした



新校舎で3学期スタート

附馬牛小が旧中学校へ移転

附馬牛小学校は1月20日、3学期の始業に伴い旧附馬牛中学校の校舎に移転しました。以前の校舎は建築から約40年が経過し、老朽化が進んでいたことから、中学校再編成で閉校した旧附馬牛中の校舎を利活用することに。昨年6月から、教室やトイレのコンパクト化など、小学校の建築基準を満たすための改修工事が行われていました。23日には地域住民向けの内覧会を実施。訪れた人は、新校舎で児童が活発に学ぶ姿に目を細めていました。佐々木寧音さん(同小2年)は「広くてきれいな校舎なのでうれしい。音楽室での授業が楽しみです」と胸を弾ませていました。



新校舎での授業に児童はにっこり



白井会長から記念品を受け取る新成人ら

障がい者のはたちを祝福

総合福祉センターで成人式

障がい者の成人を祝う会(遠野市社会福祉協議会主催)は1月12日、市総合福祉センターで開かれました。すでに成人を迎えている3人とその家族、関係者ら50人は、大人としての新たな門出を祝いました。

白井悦男会長が「互いの良さを認め合い、みんなが輝ける社会を一緒に築いていきましょう」とエールを送り、記念品を贈呈。出席した濱田奈美さんの母・富士子さん(早瀬町)は「たくさんの人に祝っていただき、胸がいっぱい。娘には、明るく元気で、笑顔の絶えない人生を送ってほしいです」と顔をほころばせました。